

「る」と「た」で迷って「る」。「た」。

カップの体温と溶け合ったコーヒーはすっかり冷たい

「私はノートの罫線幅を気にしたことがない」と書いている今は、気にしている。

電流が届かない矢印はどこへ向かっているのか

カップソーサーの周りを夕焼けで照らしているランプの中で詩をうたいたい。

カウンター越しの店主が置いた砂時計の砂が下に落ちる前に寝そべりたい、くびれ。

ガスコンロのチチチチチ

頭の目に写る、眠たそうな冬の顔

下手な笑顔は湯気の表面にくっきり映るから

そのまま